

教えて歯医者さん！

はんたいごうごう 噛みあわせが逆(反対咬合)の場合Ⅳ

永久歯列（全ての歯が永久歯）の反対咬合
永久歯列の反対咬合では本格矯正治療が必要になります。以前も書いていましたが、一時的に反対咬合が治っていても第2次成長期に再び、かみ合わせが逆になり本格矯正が必要となる場合もあります。



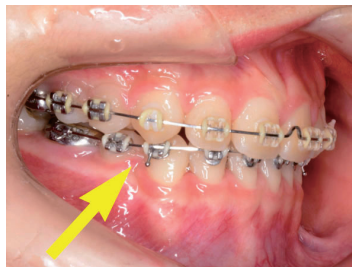
はは歯クラブ
無料歯みがき指導・相談
9/10・20（要予約）
問）ゆきなり小児・矯正歯科



院長 行成哲弘

【資格、学会】
・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医
日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会

左上の写真は小学生の時に矯正治療を行い反対咬合を治療した方です。成長とともに下の顎が長くなり噛み合わせが逆（反対咬合）になってしまいました。この様な場合は成長が停まるのを待って下の写真のように本格矯正で治療します。矢印の部分にあった小臼歯を左右一本ずつ抜歯して噛みあわせを治しています。きれいな歯並びになってもその後、噛みあわせを安定させるための簡単な装置（保定装置）を使用する必要があります。また、もっと過度な反対咬合（横顔の改善も希望する場合）で本格矯正だけでは十分な効果が得られないと判断された場合には外科手術も併用することとなります。



気になる場合は小児歯科専門医、矯正歯科専門医へご相談ください。HPは「ゆきなり小児歯科」で検索すると簡単です。過去の「親子のひろば」もダウンロードのページに掲載しています。

ゆきなり小児・矯正歯科
【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26
TEL:095-857-8211



待合室横の屋外キッズスペース